

健康医療市民会議(KISK)会報 Vol.60

2013年 **3** 月号

丁度5周年になります！



健康医療市民会議（KISK）は、2007年10月に設立し、2008年の3月に会員募集開始、同4月に第1回の定例会を開催。会報のVol.60が示す通り、丁度5年が経過しました。定例会をとっても、大震災の直後の2011年3月の中止を除けば、毎月必ず開催し、健康医療の勉強をしてきました。少なくとも、「自分の健康は自分で守る」意識の向上には、お役に立ったのではないのでしょうか。その心ある同士が集った当会ですが、今後も、一緒にピンピン100才を目標に行きたいものです。

3月定例会案内

定例会は患者数最大！の「ロコモ」のお話を中心。詳細 P.2

定例会は19日（火）に、おなじみ国際医療福祉大学大学院にて、初めて整形外科の先生の講演が中心です。江戸川病院の泉田良一先生をお招きし、近年話題になっている「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」のお話を聞きます。ロコモとは筋肉、骨、関節など運動器官の衰えとか異常のことで、予備軍を含めると4700万人と言われ、患者数では最大。数年前の厚労省の発表では、介護が必要になった理由の20%を占めています。膝、関節などに異常を感じられている方にはいいお話が聞けるのではないのでしょうか。

代表からは、「定例会5年間を振り返る」の報告があります。

2月定例会報告

詳細 P.3～6

2月定例会はあいにく雪、みぞれの天気で、出席を躊躇された方も多かったようですが、代表の中間報告、市民学の男女別健康法その2に続いて、運命学研究者土田小太郎先生の「運命学と健康」のお話がありました。

その他

詳細 P.7～9

WHO（世界保健機構）の出した塩分の摂取目標1日5gは守れるかという話題、また、最近、新たにいろいろ出てきているウィルスとは何かについて見てみました。「医療は公共財かビジネスか」では、数多い保健医療福祉関連のNPO法人という話題を取り上げました。

健康医療市民会議(KISK) 代表 梶原 拓

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203

TEL: 03(5403)7723 FAX: 03(5403)7724 E-Mail: Info@kisk.jp URL: <http://www.kisk.jp>

お知らせ:会報は当会ホームページ <http://www.kisk.jp> の「会報」ボタンからダウンロードできます。

第60回（3月）定例会のご案内

日時：平成25年（2013年）3月19日（火）16時00分～18時00分

場所：国際医療福祉大学大学院 港区南青山 青山1丁目タワー5F

（地下鉄青山1丁目より徒歩3分—下記地図参照）

予定：16：00—16：45 中間報告 および 「定例会5年間を振り返る」

梶原 代表

16：45—18：00 講演「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」

ロコモチャレンジ！推進協議会委員長

社会福祉法人仁生社江戸川病院慶友人工関節センター長

泉田 良一 先生



講演：「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」

テレビなどでも取り上げられたりしていますのでご存じの方も多と思いますが、今回ロコモティブシンドローム（ロコモ）について、江戸川病院の泉田良一先生にお話しして頂きます。ロコモとは、一言で言うと、筋肉、骨、関節などの運動器官の障害によって介護や道具が必要になったり、その手前にあるような状態のこと。40歳代から兆候が出てくる人が多いようで、国内に、予備軍を含めると4700万人いるとも言われます。近年、高齢化社会になり、転倒による事故が増えていることでも問題であることがわかります。今回、ロコモとは何か、原因は何か、どう言う治療法、予防法があるか、などについて先生から解説して頂きます。

泉田先生プロフィール：1975年慶応義塾大学医学部卒。慶応義塾大学医学部助手、チューリヒ大バルグリスト病院留学、国立埼玉病院勤務を経て、江戸川病院慶友人工関節センター長（現職）。専門は、股関節外科、小児整形外科。ロコモチャレンジ！推進協議会の中心（委員長）として活動されている。

ロコモチャレンジ！推進協議会：整形外科の先生方（日本整形外科学会）が中心となり、高齢者の運動器の問題を、「日本社会全体の、チャレンジ！」と位置づけ、「ロコモ チャレンジ！」というアクションワードを作り、関連企業や厚生労働省と一緒に解決して行こうと言う趣旨で、2010年に設立された協議会。企業では、20社以上の製薬企業などが正会員・準会員となっている。

「定例会5年間を振り返る」

平成20年4月の第1回定例会以降、前回の第59回に至るまで、大変多くの、健康・医療の専門家の方々にご奉仕頂き、会員諸氏の健康に役立つ情報の共有に努めて参りましたが、それぞれの先生方の言葉の中で特に印象的なものを集めて一覧にしました。ご一緒に、思い出すなり、新たに覚えるなりして、情報を生かしましょう。

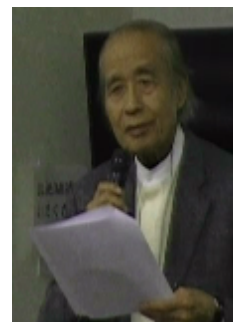


第59回（2月）定例会報告（メモ）

2月の定例会は、19日、国際医療福祉大学大学院にて開催。代表の中間報告、市民学の個別化健康法の「男女別健康法・その2」に続き、今回は、やや趣向を変えて、「運命学と健康」というテーマで、運命学研究家の土田小太郎先生のお話を聞きました。

1. 中間報告 梶原代表

前回の定例会での気功の講演、劉超先生の健身気功特に呼吸法のお話と実践、梁蔭全先生の不老不死の気功術のお話と実践について、簡単に振り返り、また、本日の運命学研究科土田小太郎先生の簡単な紹介がありました。



また、患者・市民の自衛策として、高齢者の転倒事故や寝たきり、交通事故などの対策として「自立ポテンシャル」向上策を、農水省に提案、協議中であること、その実施の具体化のための組織として、社団法人「健康市民協議会」を設立するなどの報告がありました。

2. 市民学シリーズ・個別化健康法5「男女別健康法・その2」梶原 代表

個別化健康法は、「血液型別健康法」「体質別の健康法」「年齢と健康法」に次いで今日は「男女別健康法・その2」を話す。

ホルモンが大切だが、男性ホルモンの一種「テストステロン」が不足すると LOH（ロー）症候群（脚注参照）になるので、ストレス、不規則な生活、加齢の影響を避ける。加齢も自分で年を取ったなど思い込んではいけません。

体の運動や筋肉の活動で男性ホルモンを維持し増やす。スクワットは非常に良い。食事や栄養が大切でタンパク質を心がける。野菜果物は大切だが菜食主義にはこだわらない方が良いと思う。メタボにならないように。にんにく・ねぎに含まれる「アリシン」や牡蠣や豚のレバーや牛肉の赤身に含まれる亜鉛は大切。好きなら酒も良いが深酒は避ける。

食事と運動のほか、筋肉注射・エナルモンデモーは一回でかなり改善する。2-3週ごとに補充し3ヶ月で回復する。市販薬グローミンも効果があると日経ヘルスなどが指摘。

前回も話したがホルモンのバランスを整えるための4原則は、

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 睡眠不足は大敵—生活リズムを整える | 2 ストレスは司令塔(視床下部)を狂わせる |
| 3 極端なダイエットは避ける | 4 適度の運動はやっぱり重要。 |

加齢とともに減っていくホルモンの補給も勉強し対応しましょう。

（注）LOH（ロー）症候群：加齢男性・性腺機能低下症候群とも呼び、男性版の更年期障害。それまで、漠然と男性の更年期障害のあることはわかっていたが、2007年に、日本泌尿器科学科と日本メンズヘルス医学会が共同で症状や診断基準を明確化したことで命名された病名。男性ホルモンのテストステロンの値が急激に下がる（基準 8.5pg/ml 以下）ことにより起こる。

第59回（2月）定例会報告（メモ）（続）

3. 「運命学と健康」 土田小太郎様・八門塾代表 運命学研究者



梶原代表から、松原泰道老師の影響をうけ駒沢大学仏教学部で僧侶を目指されたが、在学中に運命学と出会い、その研究と実践を積み重ね、現在運命学の第一人者として個人や企業の幅広い相談役をとの紹介を受け、元気一杯で若きエネルギーな講師の力強い講話が。現在「生年月日オタク」として運命学に取り組む。大学で松原老師の内外の仏教講演会に随行する生活のなかで、運命学に出会う。最初は否定的な感覚も持ちながら実践的な多くの事例の分析評価をした。

その中で運命学の素晴らしさに感銘し、20 数年間、実績や事例を蓄積し、「八門塾」で食事コンサルやNTT 等の大企業向けの将来を占う簡易ソフトも開発し、運命学の仕事をしてきた。運の働きや行動を占う門下生も 50 数名おり一緒に研究してきた。まず、いろいろの方の生年月日に当たって試してみた。隅田川河畔のホームレスの方の調査も。その中で健康と食事の関係でその方にどう対応するか考えぬいた。運命学の考え方は原因と結果の法則のすべてを認めることから始まる。その人の生年月日と時間には意味があり、事象には原因があり結果がある。相手に質問をし、生年月日はその人に意味があると確信。二人の娘にも次女の時は出生の時を、これからは女性の時代なので社会的活動にむいた性格になる時期の誕生を選択し、現在も頑張っている。

「生年月日から何が判るか、どんな可能性があるか」は、その人の性格の特徴がまず大切だ。人生には波が、上下の波がある。また罹りやすい病気が事前に判れば、健診したり人間ドックを受けたりへの対応が可能だ。能力分野、家族との関係、結婚や子供、その他適職や適業への影響もある。これらの実績の集積が大切。業種や倒産企業の経験や企業の成長を 20 年間にわたり個人や会社の実績を調査し昨年の段階で 18 万人を調べた。命宮や本命星を含めその調査項目を書き入れる「八門命理審察判定書」の様式を示された。例えば 1980 年庚申 3 月己卯 15 日丁亥午前 8 時甲辰の干支の文字等をこの様式に記入しこれを基に判断する。また陰陽五行と季節の関係図を示され、「木火土金水の順の相生」と「相克の木土水火金の剋する相関の関係」を図表で説明された。これらを調べ記入する。

運命学には強い順に「命と運と方と相」の段階があり、一番影響の大きい「命」はその人の資質であり変わらない。「運」は運勢の波・タイミングであり、時の流れとともに変化する。数値化も可能。

「方」は方位、土地のエネルギーにより時によって変化する、旅行や散歩で変化が。「相」は家相、名前、手相等で自分が変化させられる。「命」は一番重要で生まれた時期で決まり、「風水」ではエネルギーの高い場所があり、素焼きの土が出てくる。この土地に土葬すると 8-10 代後に良い子が生まれる。先天的に重要である。「相」では鬼門の東北にトイレや風呂があると、ガンの傾向や可能性があると言われる。自分の命を知り、時を予測し、より良い選択で開運しましょう。命運と病気の関係はその内容と時を知ることが大切。五行のバランスで病気を知り、研究する。書物、情勢、情報、可能性を研究し、さらに情報を取り確認する。時間の情報が大切で、これがないと確率が低

第 59 回（2 月）定例会報告（メモ）（続）

3. 「運命学と健康」（続）

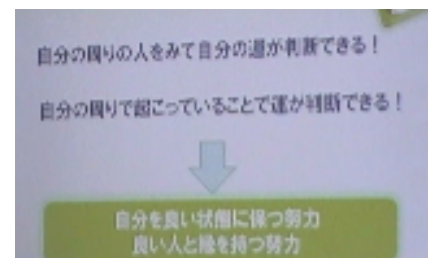
くなるが、最近では母子手帳に出生の時間の記載がある。五行の詳細関連図で、「木・肝胆・神経代謝症状」「火・心臓小腸・循環器症状」「土・脾胃・消化器症状」「金・肺大腸・呼吸器症状」「水・腎副腎膀胱・泌尿器症状」の関係を話され、次いで具体例で昭和 11 年生の方の生年月日の分析で「金が少ない」の判断で肺炎が、8 年の方「金が少ない」で中皮腫が、21 年の方「火が多く木を損なう」で肺炎の実例を。

「時をみる」。病気になるタイミング。運の乱れるタイミングで病気の時期を知り事前の対応が大切。「運の性質を知る。運は感染する」。2m の近さの人とは 30 分で感染する。会社の運も左右する。会社と社長の運の吉凶を経年グラフで倒産時期を示された。いろいろの要因があるときはどの要因が原因か研究する。家族はより影響しあう。「運も遺伝する」。運の乱れもタイミングをずらすことが大切。我々は住み慣れた家を壊す時も少なくとも 60 日は空にしてそのままにし、そのあとで壊すことが大切。自分の分身の気が残っている間は避けるべき。運気の現れやすさは人によって違い、体の弱い人や敏感な人や子供は影響が早い。人との接触の自然法則がある。易経は同声相応ずとする。自分の周りの人を見て自分の運を判断する。自分の周辺で起こったことで運を判断する。医者や弁護士は困った人を助ける仕事。縁がある人には感染しやすい。若い人や素晴らしい経営者からの感染は好ましい。自分を良い状態に保つには、良い人との縁を持つことが大切。縁は自分で努力して創るべきだ。素晴らしい人との交流が大切。若い人や経験の豊かな人が寄ってくる時は良い時だ。腰が痛い人は運が落ちている人。良い人は腰が強い。凶は避けることが大切だ。会場の会員で自己運を知りたい人は事前に生年月日を報告し、講師から自己の「命宮(中宮乾兌艮離坎坤震巽)」と「本命星(一白水星から九紫火星まで)」が示されていた。自分の運を知る。講師は立春で変わる各年度につき、運が低く気をつけて対応すべき方として、平成 25 年度は「中宮 乾 五黄土星 六白金星」、26 年度「巽 乾 三碧木星」、27 年度「震 兌 一白水星」を示され説明。中村勘三郎や市川団十郎の事例も説明が。

次いで「運をコントロールする方法や運をつかむ方法」のお話が。

「その 1 命を知る」。自分を見る客観的な目を持つ。経営者や大企業のコンサルタントをしているが、生年月日で業種別や適職の能力を見る。家族も知る。バイオリズムが落ち込む一点を見る。人の運は有限。器の大きさの差はあるが、その量は限りがあると知る。宝くじにあたって家を買うが、企業がつぶれる例もある。貯えても金は流すことが大切。留まっている人は良くない。

「その 2 運気の波を知る」。乗りこなす。良い運気と悪い運気があることを知る。短気な人は感情的となり一時の対応で終わってしまう。気の小さい人はチャンスが去って行き、波に乗れない。常識に囚われ過ぎる人は排他的になるので常識の柔軟性が大切。頑固な人はその意味を理解しない。運の波をとらえる。個人の運と社会の運があることを知る。社会から離れた運はない。進まないったら、離れてじっと待つ。休むことが大切。自然を考えると、動物は炭焼き小屋で死ぬこと



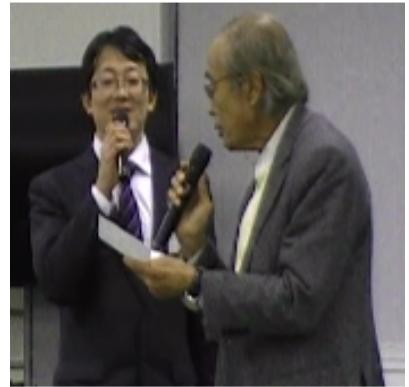
第59回（2月）定例会報告（メモ）（続）

3. 「運命学と健康」（続）

がある。動物は炭焼き小屋では、炭のエネルギーで回復することを知っている。少しの運でも対応する。自然の近くや緑の中や温泉で休養する。国の運や社会の運が大きな影響を持つ。自分自身の環境や状態を運の波長に合わせる。運を大切に自ら独立して決める。サプリを止めることもある。運は上がり続けることも、下がり続けることもない。下がる途中の人に金を貸して悪口を言われることもある。下がりきって地面に着いた人は助ける。運気は短期でなく、長期でとらえる。5-10年の長期運もある。悪いときも2年で改善する、焦ると溝に落ちる。

「その3 運を充電する、取りに行く」。運の充実の一番の方法は休むこと。外部の運を借りる・人から充電する。・良い人に会う。下がったら下がった人としか会わなくなってしまう。良い縁を何人か作っておく。散歩、旅行などで動き、吉方のエネルギーを得る。運の気の強い伊勢神宮や戸隠にも。机を動かしてみる。目先に見える存在に大きな目標を与える。木を見て森を見ずはダメ。自分自身の運を効率よく使う。何に集中するか。二兎を追うもの一兎をも得ず。

「その4 環境を整える」。家の中を整える。玄関、水回り、トイレ、机の配置。何が見えるか、まず脳にインプットするものを決める。台所は食事を思う、インパクトあるものを置く。水はゆっくりと流す、水が留まると腐る。鬼門東北に水回りはガンの可能性。南に池は心筋梗塞や頭の病気。机の配置は、入り口が見える所は良い・社長の机はこの場所、入口は落ち着かない。人の動きが見える場所が良い。鏡で見てもよい。仕事の場の環境を整える。心地よい場所に身を置き、水や音楽の流れを感じる心がけが大切。頭も体も柔らかくする。人の考えを受け容れられる。自分自身が整えるために動く。自分から良い縁を持つ。外に出て多くの人と会う。努力あつての運が大切。何事も逃げずに受け止める。逃げると倍で帰ってくる。凶を避け、運をつかむ。私自身全ての病名や将来が現在判かっているとは思はない。今後とも精一杯努力するのでお力添えをよろしく。と、エネルギーで力の籠った新鮮なお話を締めくくられ、会場は緊張から吾に帰り、これは凄いなど拍手喝采が続きました。会場



の多くの質問「運命学は事実や経験の積み重ね、経験則でしょうか。具体的に手術に直面のときは常識での判断になりますか」には、これは実践運命学で、職場や仲間が良いと仕事ができる。職場の雰囲気と運のある人との相性が大切。天中殺の人も早く検診を受けるとか、医者さんの縁を大事にすることが大切。と、自信を持った力強いご説明でした。運命学の考え方と判断結果の素晴らしいお話を契機に、占いの判断の仕方は今後我々も勉強していきたいと思えます。有難う御座いました。

塩分摂取は 1 日 5g 未満！

WHO の新基準は果たして守れるか

WHO（世界保健機構）がこの 1 月 31 日に、成人の 1 日の食塩の摂取量のガイドラインとして、5g 未満と発表したことが、いくつものメディアでも取り上げられました。日本での実態調査の摂取量はもちろん、2010 年に厚生労働省が定めた基準より相当低い数値になっています。

	<u>2010 年実態（2012 年厚労省調査）</u>	<u>2010 年厚生労働省基準</u>	<u>2013 年 WHO 新基準</u>
男性	11.4g	9g	5g
女性	9.8g	7.5g	5g

WHO は、同時に、血圧を下げる効果のあるカリウムは 3.5g 以上摂取すべきという基準を設けていますが、WHO がこのような基準を設けた背景は、もちろん、高血圧等の慢性疾患による死者が世界的に見て非常に多いこと、大部分の人が塩分摂取過多という現実があります。今回は、特に牛乳や卵など天然の食品に含まれる塩分にまで言及して注意を呼び掛けています。日本では、近年、食塩摂取量は、血管の病気だけでなく胃がんとの関連も言われており、減少傾向にあるとは言え、この WHO ガイドラインを守ろうとすれば、日本人の実態からは食塩摂取を半減するということになるので、相当の意識改革が必要。仮に、1 日 3 食 5g の“塩分予算”を 1.5g、1.5g、2g と仮定したら、どう言う意味になるか。あなたは果たして可能かどうか。次の例で考えてください。

1) 朝食（“塩分予算” 1.5g）

<パン食>パンは製造過程で多くの塩を使うので、食パンは 1 斤 8 枚切りで、2 枚（約 100g）食べたら 1.3g 程度の食塩含有。これにバターやマーガリンを大さじ 1 杯程度塗ると 0.2g 加わり、予算完了。ハムは 1 枚で 0.5g の塩分、野菜のドレッシングも小さじ 1 杯で 0.2~0.4g で無理。

<焼魚と味噌汁>塩鮭は 1 切れ 80g 程度のもので、塩分は甘塩 2g から辛口 5g 程度までありますが、甘塩でもこれだけでオーバー。半切れにしましょう。鰯の干物は小さ目 60g 程度のもので塩分 1g 程度あります。味噌汁は 1 杯せいぜい味噌小さじ 1 杯、塩分 0.5g~0.8g 程度の薄いものに。



2) 昼食（“塩分予算” 1.5g）

<カレーライス・丼物>市販のカレールーで考えると、1 皿分の塩分大体 2.7g 前後で、これだけでオーバー。家庭ならルーは半人前でつくる。外食の丼物も塩分 3~4g が多いようで難しい。

<うどん・そば・ラーメン>1 食分 4~6g。麺類は製造過程で多くの塩を使うので、麺自体に相当塩分が含まれています。店は、汁に努力、お金をかけており、もったいないのですが、出来るだけ汁は残す。インスタントラーメンにもほぼ 5g 前後の食塩が含まれていますから絶望的。

3) 夕食（“塩分予算” 2g）

<なべ>寄せなべなど、なべの良さは、比較的塩分コントロールが楽。例えば、醤油味ポン酢大さじ 1 杯で塩分 1~1.5g、ねりものが入る場合は、たとえば、かまぼこ 2~3 切れで塩分 0.6~0.7g くらいになります。

<その他>料理の場合は、塩、醤油、コンソメ、ソースなどすべて半分で試してはどうでしょう。

ウイルスとは

ナノ世界の、遺伝情報のみの疑似生物？

今、ウイルスという言葉を検索すると、病原体としてのウイルスより先にコンピューターウイルスの方が先に出てくるような時代になってしまいましたが、インフルエンザが流行っている折、また、近年、エイズ（HIV）、B型とかC型肝炎（HBV、HCV）あるいはノロウイルス、最近では、ウイルス性胃腸炎とか、さらにはダニの媒介するウイルスの感染症がニュースになっており、本来の病原体としてのウイルスの活動もコンピューターウイルスに劣らず盛んです。では、ウイルスとは何か。理解するには、生物学の知識も必要ですが、深入りはせず、簡単に見てみました。

まず、まっ先に思い浮かぶ疑問は、細菌とどう違うのか。わかり易いところで、まずはその大きさから見ましょう。ウイルス粒子は数十 nm～数百 nm（ナノメートル・1nmは10億分の1メートル）で、細菌の百分の1から千分の1程度。光学顕微鏡では見えません。1930年代に電子顕微鏡が開発され、初めてウイルスが発見されたとのこと。ちなみに、電子顕微鏡にも、種類があるようですが、市販価格は、安いもので数百万円、高いものは数億円。顕微鏡と言うより顕微装置と言った方がいいかも知れません。

単細胞生物である細菌よりこんなに小さいと言うことは、ウイルスは果たして生物なのか？ 細菌が、分裂による増殖などと言う生命体の活動をするのに対し、ウイルスは、単独では生命体の活動をするわけではなく、遺伝子（DNAあるいはRNA）とそれを包む殻だけの存在で、増殖するには、他の生きた細胞に入り込んでその遺伝子をコピーしてもらう必要がある、と言うことが大きい違いのようです。生命体かどうかは、一般論として、生命体である細菌には抗生物質が有効な場合が多いのに対し、ウイルスには、抗生物質は効かない、ということに現れています。



では、ウイルスを病原体とする病気の治療はどうするか。ウイルスの増殖を抑えるには、生物学的に遺伝子のコピー（生物学的には、転写＜DNAからRNAにコピー＞あるいは逆転写＜RNAからDNAにコピー＞などの専門用語がありますが・・・）に必要な酵素の働きを抑える方法がとられます。ウイルスによってその酵素の種類もいろいろとなるようですが、インフルエンザだけでも、周知のように、いろいろな型が存在し、その型にあった薬でないとなりに立たない場合が多いので合った薬を作るのは大変です。そこは科学のすごいところで、インフルエンザやエイズのウイルスに対する薬はいくつも出てきていますが、一方、ノロウイルスとか麻疹（はしか）のウイルス、その他、薬がまだ開発されていないウイルスはいくつもあり、感染防止は非常に大切です。

ウイルスは生物ではない、と言っても、細胞から抜け出て、物体の上で、2～8時間は生きていられるものとのことです。つまり、その時間内に自分の細胞に入り込まれたら厄介なことになるということです。DNAとかRNAとかの遺伝情報があつて、単独では増殖しないにせよ、生きていた時間があると言うことでは、「疑似生物」と言った方がいいのかも。いずれにせよ、ウイルス性の病気の治療や予防には、遺伝子工学も欠かせない様子。とりあえず、予防には、卑近な習慣、うがい、手洗いを心がけましょう。

医療は公共財か、ビジネスか

④② 保健、医療、福祉関連 NPO 法人

つい先日、全国骨髄バンク推進連絡協議会という NPO 法人の会報で、会長である歌舞伎の市川団十郎さんが新年の挨拶をされている記事を見たばかりでしたが、亡くなられたというニュース。団十郎さんは、ご自身の白血病、骨髄移植の経験もあって、会長を引き受けておられたようです。NPO という文字はよく見聞きするのですが、では NPO 法人とはどんなものなのか。NPO 法人あるいは特定非営利活動法人は、特定非営利活動促進法という特別法に基づく公益法人で、都道府県（事務所が複数の県にまたがる場合は内閣府）の認証制。財団法人や社団法人の許可制と比べ、手続きも比較的簡単なため、増加傾向にあります。では NPO がどのくらいあるのかご存知でしょうか。2010 年 1 月現在の数字ですが、合計 39,214 団体とおおよそ 4 万。数の上ではコンビニ並みにあると言っていいでしょう。

事業規模を見ると、あるサンプル調査の結果では、全 NPO の事業収支規模の平均が年約 1,850 万円と言いますから、小さな商店とか社長 1 人でやっているような会社並みの規模。4 万を掛けると NPO 全体ではおおよそ 7,500 億円前後と推定できます。NPO 法人の多くは、会員制をとっており、年会費が安定した収入源となっているようですが、他に、寄付金、助成金、事業収入などが上位を占めており、自立のため事業収入を増やしたいと思っている団体が多いようです。借入金も平均約 1,000 万円あり、金融機関からの借り入れは難しく、個人からの借り入れが約 70% を占めているようです。平均的な団体の経営的プロフィールはこんなもので、ボランティア頼みの現状は、多くの人が想像する通りではないでしょうか。

NPO 法人の活動分野は 20 に分けられており、第 1 号は「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」、第 2 号は「社会教育の推進を図る活動」、第 3 号は「まちづくりの推進を図る活動」以下第 20 号まであります。NPO 法人は、それぞれ定款で活動分野を定めており、1 つの法人が複数の分野にまたがって活動している場合が多いので、単独の数字ではありませんが、約 4 万の NPO 法人のうち実に 58% に当たる約 27,000 の団体が第 1 号の「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」分野に当たる活動を含めています。主たる活動分野が第 1 号に当たる団体の数を全体の半数の 2 万と仮定すると、保健、医療、福祉分野の団体の合わせた事業規模は 3,000 億円～4,000 億円と推定出来ます。これを多いと見るか、少ないと見るかは意見の分かれるところでしょうが、保健、医療、福祉の分野ではこの分だけ、NPO という民間組織のお世話になっているわけです。

第 1 号だけで 2 万以上という数が示す通り、その活動は実に様々で、一つ一つの「特定性」が想像できますが、共通性として言えることは、特定の病気の患者であったり、医療ミスや薬害の被害者であったり、特定の少数の弱者を救うことがテーマになっている団体が多いことでしょう。企業の場合は、市場サイズが大きいことは大事だし、行政でもある程度の数が揃わないとなかなか手を出すことは難しい。そう言った中で言わば谷間の事業を引き受けていると言うことで、ビジネスではなく、主張するところは公的存在と言うことになるのでしょうか。

FAX : 03-5403-7724 健康医療市民会議宛て

定例会参加申込書

送信日 2013年 月 日

ご氏名 :

3月定例会<3月19日(火) 国際医療福祉大学 大学院>に

A. 参加します B. 参加しません

同伴者、住所変更などご連絡事項がありましたらお知らせください。

先生を囲む会

定例会終了後、午後6:30ごろから、今回講演して頂く、劉先生および梁先生を囲んで近所のレストランにて「先生を囲む会」を開きます。会費は、軽食と飲み物代、お一人4000円です。参加される方は参加を○で囲んでください。同伴者がおられる場合には、お名前もお願いします。

参加の場合○で囲む → 参加

健康医療市民会議(KISK) 代表 梶原 拓

〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-2 東武ハイライン大門203

TEL: 03(5403)7723 FAX: 03(5403)7724 E-Mail: Info@kisk.jp URL: http://www.kisk.jp